

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」磐田 校 保護者等数（児童数）： 70 回収数： 60 割合： 85 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	57	2		施設の内部を見たことがない 移転後、全体的に広くなり、保護者が迎えに来た際に待つスペースもありよかった 子どもたちが活動する部屋の中を見たことがないのでわからない 移転に伴い部屋が増えたようなので確保されているのでは？ ↓ イベントのお迎えにいらした保護者には 2 階まで上がっていただき、部屋の内部を見ていただく機会を設けたが、今後全ての希望される保護者にこういった機会を設けていきたい
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	49	7		18 時以降の時間が増えたことで助かっている 職員により対応の能力にばらつきを感じる 活動している場を見学したことがないのでわからない ↓ 放デイの活動を見学していただく機会はほとんどないため、仕方がないが、専門性については、職員が研鑽を積んで、保護者支援もできるようにしていくことでお伝えしていくしかないかと思われる
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	37	17		全体の様子かわからない 詳しく見たことがないのでわからない ↓ ①と同様、保護者のかたにも事業所内を見ていただく機会を設けていきたい 階段があり、完全バリアフリーではない 1 階部分はフラットな床だが、トイレは狭いため、車いすの利用はできない
適切な支援の	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	58	3		子どもの現状等、定期的に面談できるとよい 通い始めたばかりでまだよくわからない ↓ 個別支援計画の更新の際には必ず面談をし、保護者からの聞き取りを行っているが、利用開始後 6 か月を経過していないお宅には、面談とまでいかないまでも、送迎の際に現況をお伝えできるようにしていきたい

提 供					契約の際には、ご相談はいつでもお受けできることをお伝えしているが、周知されていないのかもしれないので、改めてお伝えしていきたい	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	42	12	<p>毎回支援の内容を知ることができない</p> <p>↓</p> <p>保護者以外のかた（祖父母やおじ、おばなど）がお迎えにみえるお宅は、保護者のかたと直接お話をしていないため、申し送り事項が必ずしも全て保護者に伝わっているわけでもないのかもしれないので、保護者のご都合のいい時間帯に、こちらから電話をする、来所していただく等の措置をとるべきかと考える</p> <p>まだ通所期間が短いのでよくわからない</p> <p>↓</p> <p>少しずつ理解していただくようにお伝えしていく</p>	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	25	17	<p>必要性は感じない</p> <p>ほかの施設のお子さんとは接している場面を見たことがない</p> <p>↓</p> <p>当事業所の性質上、物理的に難しい</p> <p>イベントの際に利用児の兄弟と一緒に活動する場を設けたら？</p> <p>↓</p> <p>イベントの際の交流は可能であるので、今後考えていきたい</p>
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	55	2		<p>契約の際、説明を行っているが、利用前は、内容の理解が難しい場合もあるかもしれないため、個別支援計画更新の際や通所受給者証更新の際などに、再度改めて説明を行う必要があるのかもしれない</p>
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	48	6	1	<p>支援の内容や様子を知る機会が少ない</p> <p>仕事で送迎ができないため様子を直接聞くことが難しい</p> <p>↓</p> <p>⑤と同様、こちらから手立てを考えていきたい</p>
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	48	8	2	<p>ご相談のあった際には助言をすることがあるが、学校や園のように毎日利用されているわけではないので、なかなか機会はないというのが現状である→契約の際には面談、相談にはいつでも応じる旨お伝えしているが周知されていないので、今後も伝えていきたい</p>
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	37	20		<p>保護者会に参加した際に他の保護者と話ができた</p> <p>連携までは取れていないが皆の話を聞く機会はある</p> <p>保護者会になかなか参加できない</p> <p>保護者会の際にお話しする機会はあるが、それ以外ではなかなかない</p> <p>↓</p>

					大半の保護者が保護者会に参加されていないので、全ての保護者が連携することは難しいことかもしれないが、保護者会の様子を会報等で、お伝えしていく必要はあると思う また、多忙な保護者にも参加していただくことができるよう、保護者会の日程の選択肢を広げることも必要かと思う	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	37	21	1	こういうことがないのでわからない ↓ 契約の際に「苦情窓口」についての説明をしているが、周知されていないかもしれないので、「苦情受付窓口」を日常的に掲示しておくことも必要なかもしれない
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40	11	1	情報伝達は必ず口頭、掲示、手紙、ホームページ内のブログ等で行うようにしているので今後も引き続き行っていきたい
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	42	14		学校の学校だよりのように定期的に毎月ということは行っていないが、都度、連絡や情報開示を行っているため、今後も引き続き行っていきたい（紙面、掲示、ホームページ内でのブログ）
	⑭	個人情報に十分注意しているか	52	3	1	スーパーで買い物中に、いきなり「きらりに通ってくださいありがとうございます」と声を掛けられたが私自身はその人のことを知らなかった 同じ地区に住んでいても、話したことのない人からいきなりそういった声を掛けられるとは…職員のことを信用できないし場を考えるべきだと感じた ↓ デリケートな問題であると真摯に受け止め、上長に報告するとともに、事業所内だけでなく、系列他事業所の職員にも伝え、今後このようなことが絶対に起こらないようにしていきたい 私ども職員は、日常生活においても十分に配慮していかなければならない（親しき中にも礼儀あり）だけで済まされる問題ではない
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	51	6		契約時には説明をしているが、毎年掲示、おたよりでお知らせする等していくべきか？
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	44	13		毎月訓練を行っているが100余名の契約者がいるため、まだ一度も訓練を行う日に利用していない利用者がいるかと思われる 引き続き行うことはもちろん、予告、結果の報告などを掲示、公開していることをさらに周知していきたい
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	47	8	2	利用曜日は自分でカレンダーに書いているくらい通うことを楽しみにしている 毎回楽しみに通っています 指導員には心を開いているので、いつも楽しい様子です

				↓ 楽しみにしている利用者のためにも、今後もより質の高い支援内容を工夫し、行っていきたい
⑱	事業所の支援に満足しているか	48	9	<p>長期休暇の時は1時間だけでなく、数時間見ていただけるとありがたいです（他の子どもと一緒に勉強するなどあるといいなと思います）</p> <p>長期の休みに預かってくれるシステムがあるといい</p> <p>↓</p> <p>当事業所は、上記のような運営規程ではないため、今のところ難しい</p> <p>勉強も見てもらいおたのしみのゲームもあるので勉強が苦にならないようです</p> <p>ここで覚えたアナログゲームが好きになり、誕生日やクリスマスのプレゼントでもらい家族と一緒にやりとりできる遊びをする機会が増えた</p> <p>子どもが興味をもつものを取り入れていただきいつもありがとうございます</p> <p>↓</p> <p>支援の中で行うアナログゲームや課題等は事前に職員同士でやり方を教材研究し、より楽しく行える方法を考えている→今後も活用していきたい</p> <p>終わった後、様子を報告して下さるので助かります</p> <p>↓</p> <p>個別療育の長所を最大限に生かし、お迎えに来ていただいたかたに報告をしているが、今後も引き続き行っていきたい</p>

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020 年 2 月 8 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」磐田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			全ての利用者に個室対応をするのは難しいが、衝立や個室を使うなどで工夫している。利用者により、階段を使用しない1階で支援を行う、声が響かない個室を使うなど配慮をしている。 毎朝の職員申し送りの中で、日々の利用者に応じ、使用する部屋割りを考慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1		法令遵守で配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		転倒防止を考え、玄関アプローチには段差解消のスロープを置き、玄関ホールにはできるだけ平らなマットを置き、靴を脱ぐスペースを広く取るようにしている。 階段があるので、上り下りの苦手な利用者には手すりを持ち、慌てなくてもいいことを都度伝えている。ピクトグラムや絵カード等の活用も行っている。 1階の支援室はバリアフリー化されているが、トイレは狭いので車いすでの利用はできない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	1	年度初めに事業所内の各業務担当を割り振りし、それぞれが計画を提案し、職員全員が実行、評価、改善しているが、PDCAに関する職員の感覚が異なるため、共有できていない面が多い。 評価表のようなものを用意すべきであるのか？
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		保護者よりいただいた評価は必ずわかりやすい一覧表やグラフにまとめ、保護者の目に触れる場所に掲示しているが、そのほか、日常的には、玄関スペースに保護者への連絡を掲示し理解していただくようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページに公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	当社ではまだ外部による第三者評価は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			職員が必ず参加する研修と各自が自発的に参加する研修とあり、自発的参加の研修に参加する職員は少ない。（費用面、日程面で参加の難しいものが多い） できれば、積極的に参加し、さらに資質を向上していきたい。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3	1	6か月に1度職員間での利用者に関するアセスメントと保護者との面談を行い、更新を図っているが、上半期に遅れた分がまだ取り戻せていない部分がある。また、保護者との面談で出た要望や意見は更新の際に必ず反映させていきたい。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	2	全事業所で統一されたツールを活用したいと考えるが、現段階では統一されていない。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			担当者同士で会議を行い、適切な課題内容を討議している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		会議やモニタリングの際に内容の見直しを行ったり、提案をしたりしている。 但し、利用者によっては固定されている方が安定する者もいるので、利用者に合わせてプログラムを考えている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		長期休暇の際には学校より出された課題への取り組みのサポートをすることもある。 利用者によっては固定されている方が安定する者もいるので、利用者に合わせてプログラムを考えている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		集団活動は年間で5回か6回開催し、この活動の際に特に利用したい利用者もあるため、支援計画の中に、利用者に応じた活動内容を組み入れて作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		毎朝、職員の申し送り（朝礼）を行い前日の振り返りや本日の支援についての会議を行っている。但し、支援の詳しい内容に関しては前回行った指導員と直接各自で相談をするようにしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				⑮で行っているため、終了後にはほとんど行っていない。緊急の場合のみ、職員全員に社内チャットで知らせるようにし、共有している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	4		記録は丁寧に残しているが、複数の指導員が担当することで、認識の違いを感じることもある。また、情報が正しく共有できていない場合があるため、都度、話し合いが必要となる。 また、利用者によっては、どの指導員ともかかわりが浅く、アセスメントがきまらずに、なかなか支援に活かすことができないことがある。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		上半期は定期的なモニタリングができず、計画の見直しが進まない時期があった。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	3		地域交流に関してはなかなか取り入れることはできないが、他の基本活動に関しては、どの利用者の支援においても必ず複数組み合わせで行っている。	
	関係機	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3		一時期、管理者のみで参加し、その後の報告がなかった時期があった。

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携					現在は、管理者と指導員 1 名で参加し、職員の代表として会議で発言したり、会議の内容を報告したりしている。	
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	3	2	送迎はないため、学校との直接のやりとりはないが、保護者を通して学校の行事や年間計画等の情報を得るように心掛けている。 保護者からの要望がある場合には、相談支援事業所と連絡を取り、学校との連携を取り、情報の共有、利用者に対する思いの共有などに図っている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	2	現在は医療的ケアの必要な利用者は在籍していないが、事業所の連携医とは常に連絡が取れるような関係を築いている。 各利用者が日常的にどの病院を受診しているのか、主治医名などを保護者より聞き取り、把握するようにしている。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5		保護者からの要望があったときのみ共有するようにしている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6	1	今までは一人だけ卒業したが、これはできなかった。今年度は 2 名が卒業するので、可能であれば保護者の同意を得たうえで、連携を取り、情報の共有をしていきたいと考えている。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3		別の市ではあるが、市から委託を受けた児童発達支援センターの専門機関と連携を取り、研修や助言を受けている。 市内にある支援センターとももう少し連携をすることができればと考えている。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7	集団療育を行っていないため、こういった機会はほとんどない。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	3	管理者は参加できるが、午後からの開催が多いため個別療育をメインとする等事業所で、指導員が協議会に参加することは難しい面がある。 午前中の開催であればもう少し参加できるのではないかとと思われる。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			支援の後の保護者への申し送りの際には状況を伝え合うことができています。しかし、送迎がギリギリになってしまい、ゆっくり話をする時間のない保護者や、祖父母が送迎にみえるため、なかなか話す機会のない保護者もあるため、共通理解をもたれているか不明である。 忙しい保護者こそ、じっくり話す機会をこちらから提案していきたい。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	2	ペアレントトレーニングの研修を受けたことのある職員はいるが、これを実際に活かすことがなかなかできない。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2		契約の際、管理者は必ず文書をお渡ししたうえで、丁寧に説明をし、質問に対してもお応えするようにしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		申し送り時の質問対応にとどまっている。職員自身の経験や療育に関する知識などでできるだけ保護者の気持ちに寄り添い、相談に適切に応じることができるよう心掛けている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			「きらりカフェ」という保護者会を企画し、保護者同士で話したり親睦を深めたりできる場を設けている。この会には職員も同席し、意見を伺いながら、事業所としての考えや職員自身の子育ての経験、療育に関する知識などを伝えるようにし、保護者同士の連携を支援している。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			職場として上長に相談すべきことは相談し、事業所内で解決できることは職員で話し合い、対応するようにしている。とにかく迅速に、適切に対応することは心掛けている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		行事の予定は文書として配布、事業所内に掲示、ブログなどで連絡をしている。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	6	1		個人名のわかる名簿や個人ファイルなど、机の上に置くことが多いので、できるだけ他の保護者や来客などからは見えないように置き場所を工夫したい。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			口頭だけでなく紙媒体で可視化して説明することも必要であると感じている。利用日の振替を紙媒体でお渡す。行事の説明についても直前に確認の意味で紙媒体を使ってお渡しするなど。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5	事業所が現在地に移転してきた際には、近隣のかた（自治会）に挨拶状を配布するとともに、自治会長さんにご挨拶に伺い、地域住民の理解をお願いした。しかし、事業所の行事は、利用者に合わせて内容のものであるので、地域のかたをお招きする内容ではない。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	1	マニュアルは作成し、掲示する、口頭でお伝えする等しているが、保護者への周知は完全ではない。特に感染症や防犯対応などは、もう少し可視化していきたい。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			毎月一度、必ず防災訓練を行っており、訓練の予告、結果をブログに掲載したり、事業所内に掲示したりしている。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		虐待に関する研修会には積極的に参加するようにし研修参加者は事業所内で必ず報告を行っている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		3	職員で話し合う機会を設け、具体的な場面を想定し共有している。 さらに契約時に保護者には重要事項説明書の中で説明をし、了解を得ている。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	2	事業所の中で食糧を用意することがないため、このような対応はしていない。 行事の際に市販のお菓子をおやつとして提供する際は、事前に食物アレルギーの有無を全利用者に聞き、対応できるようにはしているが、今のところ、アレルギーのある利用者やアレルギーに関する問題はない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	2	作成はしているが、全職員で共有できていないことがある。 利用者にもわかるように具体的な事例を可視化し、掲示していきたい。